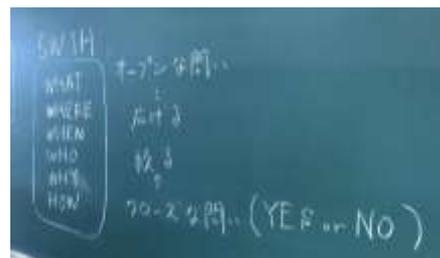


# 2年探究コース、グループ研究へ。



▼7月1日（水）6校時

「地域理解研究」：一次検証まとめ・グループ作り

▽2年次探究コースは、6月で個人研究での一次検証が終わりました。

▽もともとは3月からグループを作り、研究を進めていく計画でした。しかし休校期間を挟み、また学校再開後も「密」を防ぐ観点から、計画を変更して個人研究でスタートしました。そのことによって個人で考える質・量がともに増え、結果的に良い結果をもたらしてくれそうな予感がしています。

▽この時間では、次の3つを行いました。

- ①一次検証までのまとめ
- ②一次検証までの研究の共有
- ③二次検証の方向性決定

①まず「探究学習ノート」の該当ページに一次検証までの流れをまとめます。

②次に、席の近い生徒4人でノートを回し読みし、質問と助言を付箋に書いてフィードバックします。研究発表会などで活きる質問をする力を、こういった場面でも養っています。また助言もポジティブなものを促し、さらなるアイデアが生まれやすいように心がけています。

③あらかじめ作成していた「一次検証テーマリスト」を配り、似ている生徒同士で集まることでグループのメンバーとテーマを決定します。なお、ソロ研究（個人研究）も認めています。

指導の流れ

項目	時配(分)	ワーク	ポイント
導入	5分	本時の説明 ①一次検証までのまとめ ②一次検証までの研究の共有 ③二次検証の方向性決定	
活動	12分	①一次検証のまとめ 探究学習ノート P.27～P.29 に一次検証までの流れを、ノートの項目に沿って端的にまとめます。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・過去のワークシートや振り返りを参照させ、「内容をまとめる」ことを伝える。</li> <li>・早く終わった生徒は、探究学習ノート P.29 の下半分に、一次検証でわからなかったこと、調べ必要があること等、二次検証のアイデアを書き出す。</li> <li>・黄色の付箋：質問 →open Q (5W1H) 解答広 →closed Q (Yes/No) 解答狭</li> <li>・青色の付箋：(ポジティブ) 助言 →" Yes, and..."で!</li> </ul>
	15分	②共有 席の近い生徒4人でそれぞれの探究学習ノートを回し読みし、少なくとも1つずつ質問と助言を付箋に書く。 (4分×3回+コメント確認3分)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・黄色の付箋：質問 →open Q (5W1H) 解答広 →closed Q (Yes/No) 解答狭</li> <li>・青色の付箋：(ポジティブ) 助言 →" Yes, and..."で!</li> </ul>
	15分	③二次検証の方向性決定 ・グループ作りの注意点を確認する。 ・「一次検証テーマリスト」を配布する。 ・グループで行うか、ソロで続けるか、「一次検証テーマリスト」をもとに決める。 ・テーマが似ている生徒同士で集まり、探究学習ノートを回し読みし、質問と助言を付箋に書く。 ・決まったら、テーマとグループメンバーをホワイトボードに書き、教師に提示する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・グループは5人まで</li> <li>・興味や問題意識等、研究したい内容を最重要視する。</li> <li>・作業量の均等化</li> <li>・ソロ研究はホワイトボード1枚に記名し、リスト化する。</li> </ul>
まとめ	3分	・探究学習ノートで振り返り ・次回(7/7)までにグループを最終決定しておくこと、次回から二次検証に入ることを伝える。	・P.62【一次検証の振り返り】を記入する。

## ▼「指導の流れ」と「伴走」スタイル

▽新庄北高校では、ほぼ毎時間右上のような「指導の流れ」（指導案の簡略版）を作成し、全教員で共有しています。担当者以外でも、足を運んで生徒と対話して下さる先生もいます。

▽説明は教員が行いますが、それ以外の時間は生徒たちが考えたり話したりして活動を進めるようになってきました。グループ作りについても、教員は全く関わっていません。生徒が走ろうとしているところに教員が寄り添う、「伴走」スタイルを今後も考えていきます。

